

## (特非) ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

# 有害化学物質による胎児と子どもの悪影響を 最小限にするための政策提言と世論喚起活動

活動地域  日本全国



10月29日環境省への提言申入れの様子

### 課題

海外に比べ日本では有害化学物質の影響に関する認識が一般市民に浸透していない。国民の関心を高め、脆弱な子どもへの悪影響を考慮した化学物質規制強化が必要である。

### 目標

人の体内の化学物質汚染度を調べるためのバイオモニタリング制度をはじめとする最新の化学物質規制について情報提供を行い、市民の関心の広まりと理解力向上を目指す。



### 今後の 展望

環境保健基本法の法制化を求める請願署名を集め、衆議院と参議院に対して提出する。有害化学物質とその規制について国際セミナーや学習会、SNSで最新情報を提供し、市民の関心の広がりを目指す。

ひろげる助成

## 2年目

知識の提供・普及啓発

### 活動内容と成果

東京多摩地域の水道水への有機フッ素化合物汚染地域住民の血液検査を実施。結果をもとに住民の健康調査とバイオモニタリングの実施を環境省と東京都に提言。地域住民と国会議員に対する学習会を開催。海外の有害化学物質規制の最新情報の国際セミナーをオンラインで開催。また新型コロナウイルス感染症拡大による、消毒剤・殺菌剤の過剰使用によるリスクについて提言と学習会を開催。柔軟剤などに含まれる人工香料による健康被害に関するパンフレットを作成。バイオモニタリング制度を含む環境保健基本法の法案を作成。



血液検査報告会。会場とオンラインで開催

国際セミナー 2回の  
延べ人数 **294人**

学習会3回の延べ人数 **492人**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **50%**

## 苦勞した点と工夫した点

### ■苦勞した点

新型コロナウイルス禍で国際セミナー講師は来日できず、国内学習会も開催が困難となり、また開催できても会場参加者数が制限された。

### ■工夫した点

時差がある中海外講師には午前早くからオンラインで講演を依頼、また国内学習会は、会場とオンラインでの開催などで実施した。

〒136-0071  
東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4階

電話：03-5875-5410

E-mail：kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp

HP：https://www.kokumin-kaigi.org

